

花かつみ園一般公開日

6月3日(日)～17日(日)

草木地区にある花かつみ園で、保存会により、大切に保護されている「花かつみ」の一般公開が始まります。

初夏に咲く“幻の花” 花かつみ

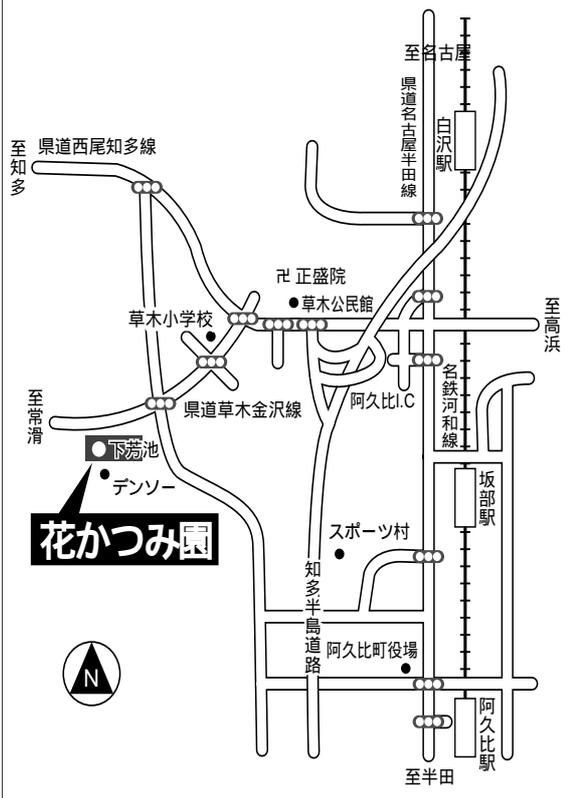


昨年の「花かつみ園」

花かつみは、アヤメ科の多年草で野花菖蒲（ノハナシヨウブ）とも呼ばれます。室町時代に伯耆の国（鳥取県）から草木の下芳池に移植されたといわれています。桶狭間の合戦の際には、徳川家康の生母於大の方が家康の武運長久を願い、坂部城で「花かつみ」の「勝つ」という名前に思いを込め、仏前に捧げたという伝説も残っています。大正時代には、絶滅してしまっただとも言われましたが、その後も地元の人々によって大切に保護され続けました。

昭和六十二年には、「花かつみ保存会」が結成され、「花かつみ園」が設置されて以来、保存会の皆さんの努力で、毎年少しずつその数を増やしています。

【花かつみ園案内図】



問い合わせ先 社会教育課
☎(48)1111(内262)

期間中、短歌・俳句・狂俳などの作品を募集します。園内のボックスに投函してください。

開花状況などにより公開期間、行事内容を変更する場合があります。

花かつみ園は今年で開園二十年目を迎えます。初夏に咲く涼やかな紫色の花をご観賞ください。

一般公開の期間
六月三日(日)～十七日(日)
午前九時から午後四時まで
和太鼓かつみの披露(雨天中止)
六月十日(日)
午前十一時から午後二時からの二回
早朝公開(写真撮影など)
六月九日(土)・十日(日)
午前六時から